

【平成29年度 帯広市森林整備計画実行管理推進チーム会議 会議要旨】

日時 平成30年2月19日(月) 9:00～11:00

場所 帯広市役所 7階 フロア会議室

出席委員 久保 チーム長, 樋口 副チーム長, 高見沢 委員, 堀井 委員, 姫野 委員,
神田 委員, 山畔 委員, 小山内 委員, 五十嵐 委員, 猿渡 委員, 春日 委員,
岡崎 委員, 荒川 委員

会議式次第

1. 開会

樋口 副チーム長 より

2. 挨拶

久保 チーム長 より

3. 議事

樋口 副チーム長が議長として進行

1) 地域課題について 別紙資料Aにより事務局説明

- ・伐採跡地解消について

(これまでの経過、現況調査の結果、森林計画図・森林調査簿の修正状況)

2) 森林経営計画について 別紙資料Bにより事務局説明

3) 森林環境税・森林環境譲与税の創設について 別紙資料①～③により事務局説明

4. その他

各種情報提供 別紙資料㊸・㊹

フォレスター活動の紹介(十勝西部森林管理署・十勝総合振興局森林室より)

コンテナ苗の生育調査の紹介(十勝総合振興局森林室普及課より)

5. 閉会

樋口 副チーム長 より

【配布資料】

- ・ 会議次第・出席者名簿
- ・ 会議資料（資料 A・資料 B・参考資料・資料①～③・参考資料）

【提供資料】

- ・ 資料㊦：フォレスター活動の紹介（十勝総合振興局森林室）
- ・ 資料①：コンテナ苗の生育調査（十勝総合振興局森林室）

【議事内容】

1) 地域課題について

- ・ 伐採跡地解消について

<事務局>資料 A に基づき説明。

<司会>森林調査簿を情報更新し、市内の伐採跡地は減少した。残りについても引き続き調査していく。

意見・質問 → 特になし

2) 森林経営計画について

<事務局>資料 B・参考資料に基づき説明。

<猿渡委員>委託契約は 5 年で更新予定。亡くなった方もおられるので、契約し直す予定。これから意思確認をしていく。計画を抜ける方が増えていくことを懸念している。相続しても山に興味がなくて抜きたいという方が多く、また、計画に入っていると自由に伐れないと思っている人や畑を広げるために森林を開発して畑にしたいという人も増えてきている。今の区域を維持していくのは難しいかなという印象。

今後も継続して森林として管理していこうという方は、既に現行計画に途中から入られている。

<司会>未加入の人工林を今後どのように施業に結び付けていくか、経営計画に入っている人が抜ける動きへの対応も含めて、森林組合と市で協議しながら事務を進めていきたい。

意見・質問 → 特になし

3) 森林環境税・森林環境譲与税の創設について

<事務局>資料①～③・参考資料に基づき説明。

<司会>北海道の方向として経営計画に加えていくという考えがあるようだが、北海道から可能な範囲で話をさせていただきたい。

<山畔委員>経営計画の樹立面積の全国平均は20%程度。北海道は割合がずっと高いので、その中でやり方を模索しているところ。国がどう出てくるかがわからず、今のところ情報提供できるものはない。もう少しお待ちいただきたい。

<堀井委員>こちらで聞いている内容もほとんど変わらない。

<山畔委員>北海道は面積が広大なため、森林環境譲与税の額も非常に大きいものとなる。これをどのように活用していくのか、一方で、これまで一生懸命に山づくりに取り組んでこられた森林所有者さんの意欲を削ぐようなことのないよう手だてを講じることも同時進行していかなければならず、これは大変に大きな問題である。

ところで、林地台帳の進捗状況についてお聞きしたい。また、外注に出す部分で予算がつかないなど相談があれば、森林室に聞いていただきたい。

伐採跡地の解消もチームの課題であるが、森林環境税や林地台帳に関してもチームで情報を共有して進めていくのが良いと思う。

<事務局>台帳原案を北海道より12月にいただいた。全部で約12,000筆ある。うち、土地の所在が特定されていない森林が約3,500筆ある。まず、ここは埋めていかないといけない。どうすれば効率良く作業できるのかというところを年度内に考えておきたい。

台帳に付帯する地図については来年度委託で補助金を活用して庁内の統合型GISに組み込んでいく予定。

ほかの市町村でうまくやっているところがあれば聞きたい。池田町はもう終わっているという話を聞いている。

<山畔委員>適宜、情報提供していきたい。

<事務局>本市の施業規模からすると譲与される額がとても大きく、どうやってこなしていくのか。

<山畔委員>正にこのチームで相談して、地域課題を踏まえながら地域の総意でやっているという形に持っていくことが望ましい。

<事務局>木材利用にも使えることになっており、用途は広い。

<司会>森林経営管理法案(仮称)では、所有者の責務が明確化されるようだが、新しい森林管理システムに関する情報は入ってきているか。

<小山内委員>公表されている情報以外はまだない。3月中にガイドラインが出てくるという話は聞いている。

<事務局>今日は情報を共有した上で、次回からは具体的な話をしていきたいと考えている。

＜神田委員＞平成 30 年度のチーム会議においては、まだ見えないものも多いが、林地台帳や新しい森林管理システムについて取り組んでいかなければならないと思う。地域課題はいったん置いといて、という形にはなってくると思う。私たちの方からも情報は早く提供していきたい。

4 その他

＜神田委員＞資料⑦に基づき情報提供。

地域の要望などあればお聞きしたい。

＜高見沢委員＞資料⑦に基づき情報提供。

意見・質問 → 特になし

＜事務局＞森林環境譲与税も他の部分についても帯広市だけで考えていても煮詰まる。

例えば森林組合の管轄範囲の市町村と課題を共有するためにチーム会議を合同でやるというのは如何か。また、他の市町村で上手くいっている事例があれば伺いたい。

過去に一度だけ隣接町村と合同開催した経緯はあるが、課題の共有が上手くいかなかった。

＜山畔委員＞合同でやると意見はいろいろと共有できる。全国的に見ると森林組合単位で合同でやっている。

＜神田委員＞根室では、会議は合同で開催し情報共有をして、調査などのチーム活動は市町村単位で行っている。

＜山畔委員＞デメリットとしては、チームを大きくしてしまうと地域の合意形成が難しくなってはくる。開催場所の関係等で市町村担当者しか出席しにくい。

＜司会＞今後、調整しながら、合同化あるいはチーム会議はチーム会議として、情報共有のための集まりを別に設定する方法も考えていきたい。

＜山畔委員＞資料⑧に基づき情報提供。

＜司会＞全体を通して何かあれば伺いたい。無いようであれば以上で終了とする。